

KOIZUMIコイズミ照明器具用部品施工取扱説明書

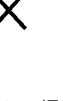
型 番 AE41756E

お客様へ 部品の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警 告			
この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
 厳守	部品の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →部品の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 分解禁止	部品を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
 禁止	このような場所には取付けないでください。 この部品は壁(1個用スイッチボックス)取付専用部品です。天井・傾斜天井などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →部品の落下によるけがの原因になります。	 禁止	部品のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	 傾斜天井  天井  不安定な場所  補強のない場所	 厳守	説明書に記載された負荷容量以下でご使用ください。照明器具以外の負荷は使用できません。 →火災・感電・故障の原因になります。
			異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

⚠ 注 意			
この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
 禁止	周囲温度5~35°C、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	 禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、部品の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。 →火災の原因になります。
 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	 厳守	表示された電源電圧以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

■定格

型 番	定格電圧	周波数	負荷容量
AE41756E	AC100V	50/60Hz 共用	LED照明器具 2~70Wまで

※表記の負荷容量は、あくまで参考値です。使用条件により多少の変動があります。

※モード切替スイッチが「切」または「自動」の場合、照明器具が消灯状態でも約0.1Wの電力を消費します。

※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

保証とアフターサービスについて

保証について

- この部品の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。
但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)、グローポイントランプ、電池などの消耗品は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

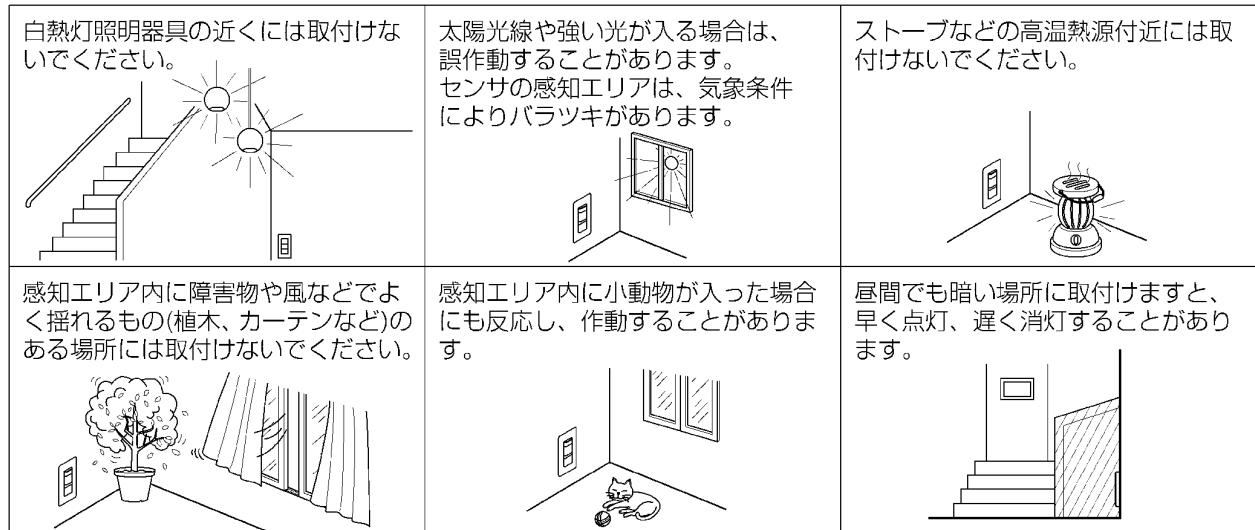
- ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

■施工前の確認

1 部品重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

- 下図のような場所には取付けない。
誤作動の原因になります。



- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

3 部品と他の光源は1m以上離して取付ける

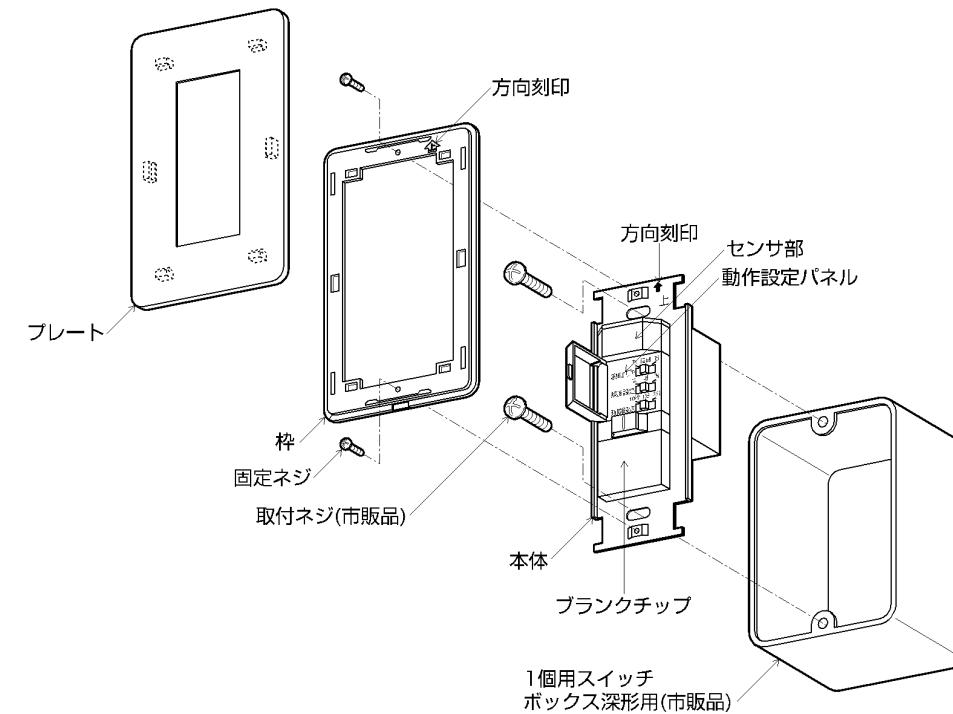
誤作動の原因になります。

4 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから部品を取付ける。
変色やサビの原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 スイッチボックスを取付ける

1個用スイッチボックス深形用(市販品)を使用する。
1個用プラスチックボックス深形用(市販品)に取付ける場合は、ボックスを壁面より20mm奥にしっかりと固定する。



金属製スイッチボックス1個用(深形用またはカバー付):JIS C 8340
樹脂製スイッチボックス1個用(深形用):JIS C 8435

2 電源線を接続する

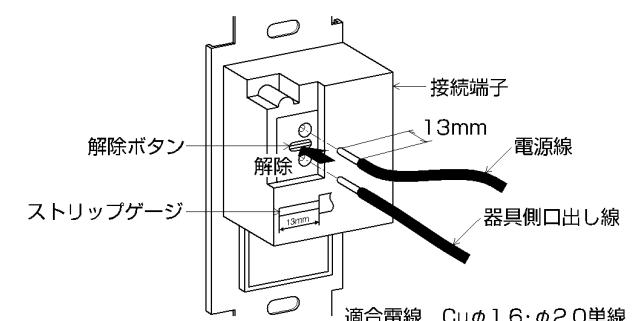
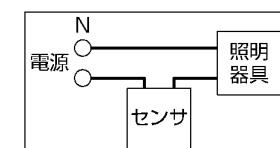
ストリッピングゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。
はずす時は解除ボタンを押しながら、電源線を抜く。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。

※同一回路にこのセンサを2個以上取付けること(多箇所感知)はできません。

※壁スイッチは必ず電源側に施工してください。

注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

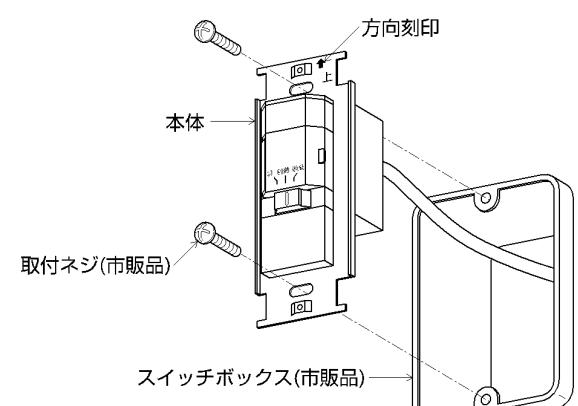


3 本体を取付ける

本体を方向刻印の指示に従ってスイッチボックス(市販品)に合わせ、取付ネジ(市販品)で取付ける。

△警告 方向刻印に従って取付けてください。指定方向以外に取付けた場合は破損・落下の原因になります。

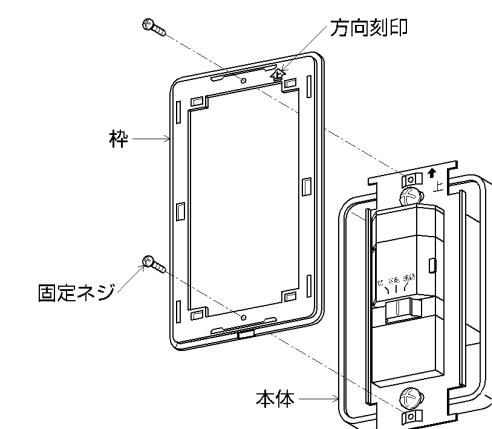
※本体が変形しないように取付けてください。
適正締付トルク:0.5N·m(5.1kgf·cm)以下



4 枠を取付ける

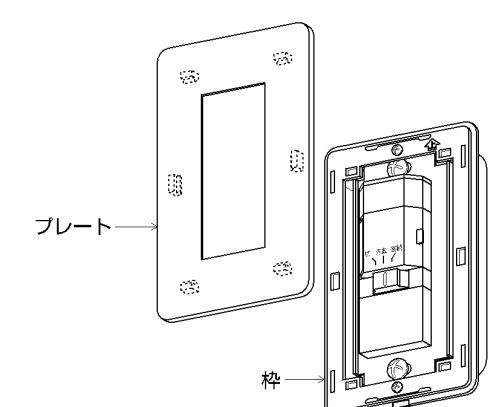
枠を方向刻印の指示に従って本体に合わせ、固定ネジで取付ける。

△警告 方向刻印に従って取付けてください。指定方向以外に取付けた場合は破損・落下の原因になります。



5 プレートを取付ける

プレートを枠にはめ込む。

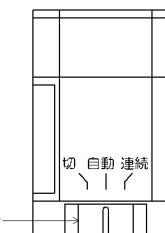


6 点灯の確認を行なう

モード切換スイッチが「自動」のとき、電源投入後は約30秒ほど点灯し、その後約30秒間は人体を感知すれば約10秒間点灯します。その後一旦消灯し、センサ待機状態になります。

■モード切換スイッチについて

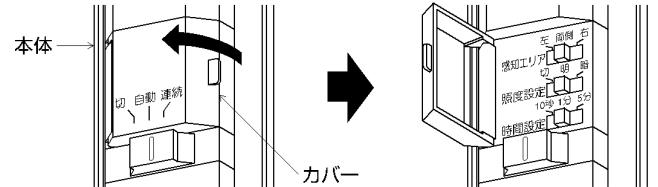
●モード切換スイッチでお好みの設定をしてください。



「切」=照明常時消灯
「自動」=センサ作動
「連続」=照明常時点灯
※センサは作動しません。

■動作設定スイッチについて

●本体のカバーを開けて動作の設定をしてください。



<感知エリアスイッチ>

動作設定パネル内にスイッチがあります。

※工場出荷時は「両側」に設定しています。

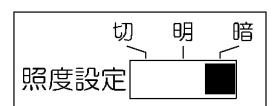


※■感知エリア図を参照してください。

<照度設定スイッチ>

この人感センサは周囲の明るさを感じる明暗センサ機能を内蔵していますので、周囲が明るい時には無駄な点灯をしないように設定できます。

動作設定パネル内にスイッチがあります。

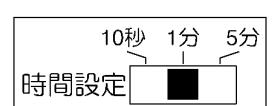


「明」=周囲が暗くなりかけたところ(45°x)動作します。(明暗センサ作動)
「暗」=周囲が暗くなつから(15°x)動作します。(明暗センサ作動)
「切」=周囲の明るさに関係なく、人を感知すると日中でも動作します。
(明暗センサは作動しません)

<時間設定スイッチ>

人が感知エリアを出てから消灯するまでの時間を「10秒」「1分」「5分」のいずれかに設定することができます。

動作設定パネル内にスイッチがあります。



※人の出入りの多い場所では、設定時間を長めにすることをおすすめします。(蛍光ランプは頻繁な点滅をくり返すとランプ寿命が短くなります。)

■感知エリア図

●感知エリアスイッチで設定してください。

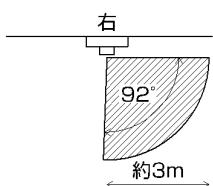
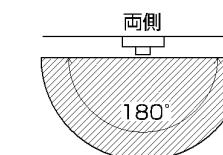
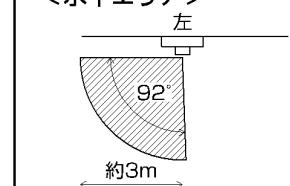
※工場出荷時は「両側」に設定しています。

※エリア確認後は必ず■センサの設定を行なってください。

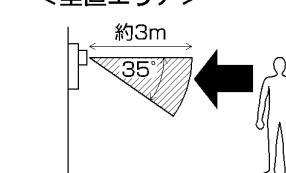


※センサ(矢印)に向かっての動作では感知しにくい場合があります。

<水平エリア>



<垂直エリア>

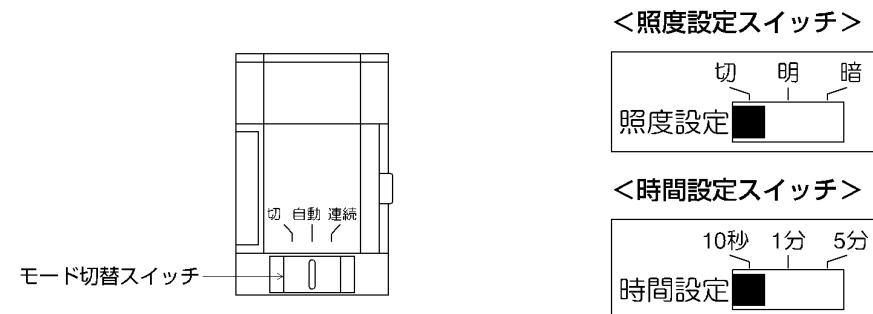


■感知エリアの設定

テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

テストモード

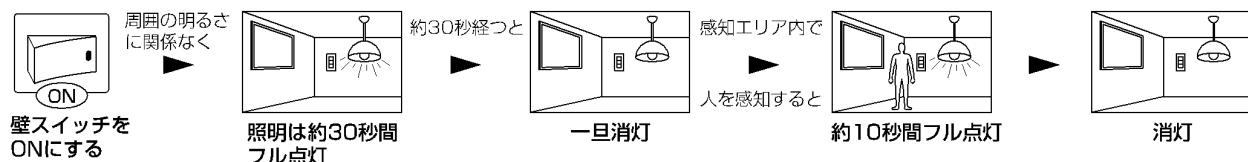
下図のようにモード切替スイッチを「自動」に、照度設定スイッチを「切」に、時間設定スイッチを「10秒」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。



q 電源投入後、約30秒間点灯し、その後は明るくても人を感知するごとに約10秒間点灯します。
結線および負荷の作動を確認できます。

w 明るい時(昼間)でも人を感知するごとに約10秒間点灯します。

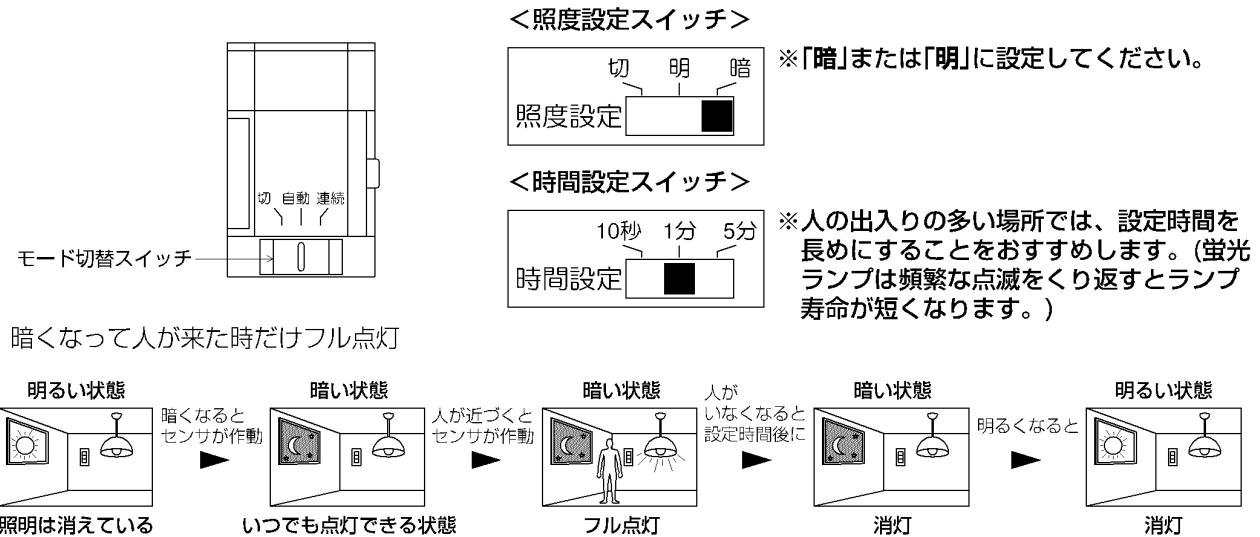
※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



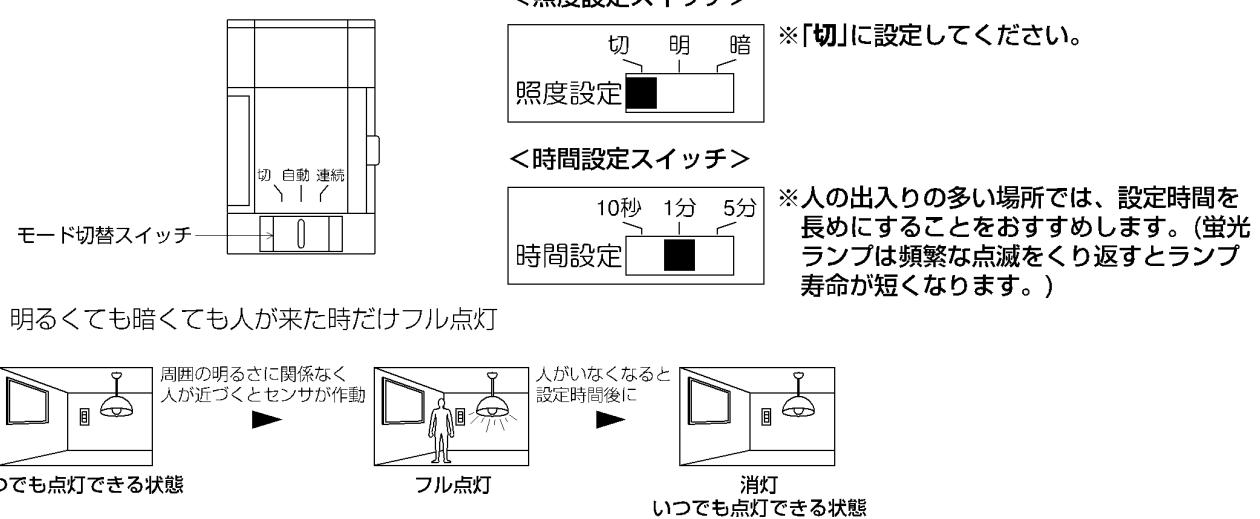
■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度を設定してください。

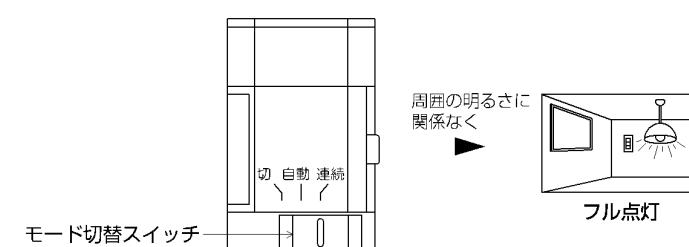
自動(夜間オンオフ)モード



自動(終日オンオフ)モード



連続点灯モード



※電源投入後、約30秒間点灯し、その後約30秒間に明るくても人を感知するごとに約10秒間点灯します。

電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。(連続点灯モードを除く。)

※設定後、連続点灯モード以外は、壁スイッチをONにしたままで使用ください。

! 部品の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 部品の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 部品の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 部品の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雜音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。

■部品のお手入れ △注意 部品のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 部品の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにて相談ください。

- センサ感知動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現 象	考 え ら れ る 原 因	処 置
感知エリアに人がいるのに点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 壁スイッチがOFFになっている モード切替スイッチが「切」になっている 照度設定スイッチで設定した明るさよりも周囲が明るい センサに光が入っている 人が静止しているか、動きが小さい 	<ul style="list-style-type: none"> 壁スイッチをONにする モード切替スイッチを「自動」にする 照度設定スイッチを「明」または「切」にする 光源を取り除く 静止しているか、動きが小さい状態では感知できません
感知エリアに人がいるのに点灯しにくい	<ul style="list-style-type: none"> センサがよぎれたり蒸気などの水滴がついている 寒冷地などで顔がマフラーで覆われたり手袋をしている 暑い日などに周囲温度と人体の温度差が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> センサを柔らかい布で傷がつかないよう拭き取る 本センサは温度変化を感じるため左記の場合、感知しにくことがあります (故障ではありません)
感知エリアに人がいないのに点灯している	<ul style="list-style-type: none"> 感知エリア内に人以外の熱源がある (例) 白熱灯照明器具 エアコンの吹き出し口 風などでよく揺れるもの (植木、カーテンなど) 犬や猫などの動物 ストーブなどの暖房器具 壁スイッチをONにした直後または停電が回復した直後 モード切替スイッチが「連続」になっている 	<ul style="list-style-type: none"> 感知エリア内の熱源を取り除く 本センサは温度変化を感じるため左記の要因で感知エリア内の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります (故障ではありません) 壁スイッチON後、約30秒は点灯します (故障ではありません) モード切替スイッチが「切」または「自動」にする